

資料3 各商工団体に対する課題等のヒアリング結果

○製造業の体質強化

発注企業の業績に左右されないよう、競争力強化や経営体質の改善が必要。

○織物業の維持・販路開拓

- ・経営者の高齢化等により、今後、産地の特徴である一貫生産体制の維持が難しくなることから、事業承継の促進が必要。
- ・有名ブランドのOEMからの転換を図るべく、若手後継者の新たな取組を支援するなど、販路開拓を図る必要がある。

○地域への利益還元ができる体制の構築

周辺観光地の通過都市からの脱却を図り、地域内に滞留させる仕組みづくりが欠かせない。

○起業・創業、事業承継の促進

人口減少により、地域内消費市場の減少、人材不足、経済低迷等に繋がることから、起業・創業、事業承継を促進する必要がある。

○少子高齢化による就業者数の減少対策

道の駅を中心に、農産品のブランド化や6次産業化を推進し、新たな産業の創出や就業者を増やす必要がある。

○地区外への消費の流出

近隣への大型店等の出店により、地元購買率が低下。商店街も空洞化が目立ち、自宅兼業の商店も多いことから、空き店舗対策がなかなか進まない。

○商店街の振興

自宅兼業の商店も多いことから、空き店舗対策がなかなか進まない。

○小規模事業者の意欲喚起

大型小売店同士の競争の中で、管内小規模事業者が経営意欲を失うことのないよう、大型店の販売力や集客力を活用するなど、大型店との連携、共存共栄を図る必要がある。

○地域資源の情報発信の強化

インバウンドや交流人口が増加傾向にあるものの、関係機関の連携がまだ不足しており、地域全体としての情報発信を強化していく必要がある。

○伝統産業の維持・発展

新商品開発や販路開拓等をよろず支援拠点等の支援も仰ぐ中で、維持・発展を図る必要がある。

○6次産業化の推進

桃・ぶどうの産地であることを生かし、6次産業化をさらに推進する必要がある。

○観光振興による地域活性化

伝統産業体験プログラム等の開発を通じた観光振興により、伝統産業の維持・発展に繋げて行く必要がある。

○宿泊業における人手不足

地域の住民が担ってきたが、高齢化により人手不足感が強くなっており、派遣業者からの派遣に頼る宿泊施設も増加。

○中部横断自動車道の開通を踏まえた地域振興

滞在型・体験型の観光振興を図ることにより、交流人口を増加させる中で、小規模事業者の売上を増加させていく必要がある。